



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **11152094 A**(43) Date of publication of application: **08.06.1999**(51) Int. Cl **B64D 11/06****A47C 1/034**(21) Application number: **09321162**(22) Date of filing: **21.11.1997**(71) Applicant: **JAPAN AIRLINES CO LTD**(72) Inventor: **SUZUKA YASUSHI****(54) SEAT COMBINATION SYSTEM**

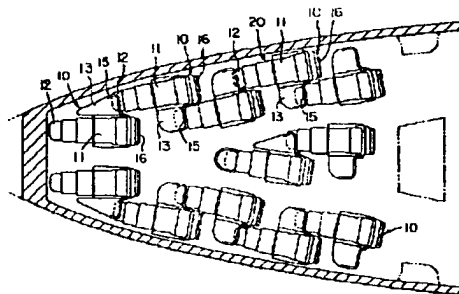
rear portion of the wing unit 13 to separate it from the other seats 10.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To hold the total structure compact and give passengers in seats a feeling as if they were in single cabins.

SOLUTION: A plurality of seats 10 is arranged in an aircraft passenger cabin 20. The seats 10 each include a seat part 11, a footrest part 12 and a wing unit 13. The footrest part 12 of the seat 10 is made extendable down under the wing unit 13 of the preceding seat 10. The seat 10 has a partition wall 15 placed at the



(51) Int.Cl.⁶

B 6 4 D 11/06

A 4 7 C 1/034

識別記号

F I

B 6 4 D 11/06

A 4 7 C 1/034

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-321162

(22) 出願日 平成9年(1997)11月21日

(71) 出願人 591049918

日本航空株式会社

東京都品川区東品川二丁目4番11号

(72) 発明者 鈴 鹿 靖 史

東京都大田区羽田空港1丁目9番1号 日本航空株式会社メインテナンス・センター内

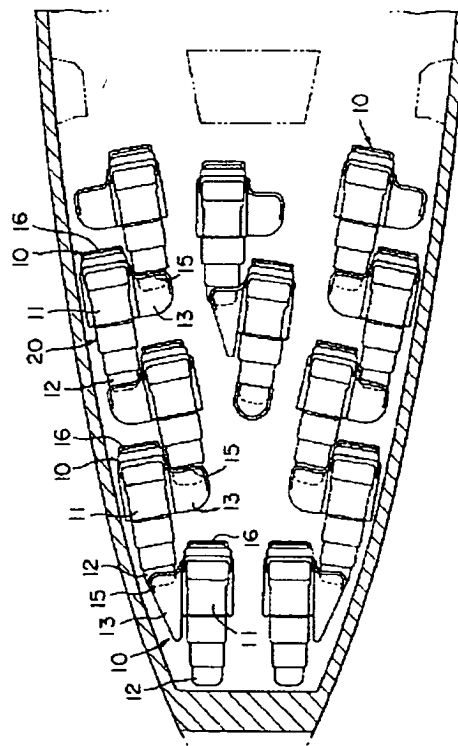
(74) 代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 座席組合体システム

(57) 【要約】

【課題】 全体の構造をコンパクトに抑えることができ、かつ座席に座る旅客に個室にいるような感覚をもたせること。

【解決手段】 航空機の客室20内に、複数の座席10が配置されている。各座席10は座部11と、脚のせ部12と、袖装置13とを有している。座席10の脚のせ部12は、前方の座席10の袖装置13の下方へ延長可能となっている。座席10の袖装置10の後方部分に、他の座席10と区画する隔壁15が設けられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 航空機の客室内に配置された複数の座席を備えた座席組合体システムにおいて、各座席は座部と、座部の下方に折畳自在に配置された脚のせ部と、座部の側方に設けられた袖装置とを有し、各座席の脚のせ部は、前方の座席の袖装置下方へ延長可能となっており、袖装置の後方部分に隔壁が設けられていることを特徴とする座席組合体システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は航空機の客室内に配置された複数の座席からなる座席組合体システムに係り、とりわけ各座席に個室のような感覚を与えることができ、かつ全体構造をコンパクトにすることができる座席組合体システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より航空機の客室内には、複数の座席が配置されている。この場合、各座席は、座部と、脚のせ部と、袖装置とを有している。また航空機の客室のうち、とりわけファーストクラスの客室内には、数少ない座席がゆったりと配置されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述のように、航空機の客室のうち、とりわけファーストクラスの客室内には、数少ない座席がゆったりと配置されているが、このようにゆったりと座席を配置すると全体構造が大きく拡大してしまう。

【0004】 一方で、各座席について個室のような感覚をもたせたいという要望もある。

【0005】 本発明はこのような点を考慮してなされたものであり、全体構造をコンパクトにすることができ、かつ各座席に個室のような感覚を与えることができる座席組合体システムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明は、航空機の客室内に配置された複数の座席を備えた座席組合体システムにおいて、各座席は座部と、座部の下方に折畳自在に配置された脚のせ部と、座部の側方に設けられた袖装置とを有し、各座席の脚のせ部は、前方の座席の袖装置下方へ延長可能となっており、袖装置の後方部分に隔壁が設けられていることを特徴とする座席組合体システムである。

【0007】 本発明によれば、各座席の脚のせ部は、前方の座席の袖装置下方へ延長可能となっているので、座席間において無駄なスペースを排除することができる。また各座席の袖装置の後方部分に、他の座席と区画する隔壁を設けたので、この隔壁によって座席にいる旅客は個室にいるような感覚をもつことができる。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して、本発明の実施の形態について説明する。

【0009】 図1乃至図3は、本発明による座席組合体システムの一実施の形態を示す図である。

【0010】 図1乃至図3に示すように、本発明による座席組合体システムは、航空機の客室20、例えばファーストクラスの客室20内に配置された複数の座席10を備えている。

【0011】 各座席10は旅客が座わる座部11と、座部11の下方に折畳自在に配置された脚のせ部12と、座部11の側方に設けられた袖装置13とを有している。

【0012】 また各座席10の脚のせ部12は、前方の座席10の袖装置13下方へ延長可能となっている。さらにまた各座席10の袖装置13の後方部分には、当該座席10を他の座席10から区画する隔壁15が設けられている。

【0013】 次に図2および図3により、各座席10について詳述する。図2および図3に示すように、各座席10の座部11の背後に背部16が設けられている。また座部11の袖装置13と反対側の側方に、小袖17が設けられ、この小袖17には折畳自在トレー21が収納可能に設けられている。

【0014】 また袖装置13には、液晶テレビ22等の各種機器が設けられている。さらに各座席10の袖装置13の下方には、後方に位置する座席10の脚のせ部12を延長した場合に、この脚のせ部12を受入れる空間18が形成されている。

【0015】 次にこのような構成からなる本実施の形態の作用について説明する。

【0016】 図1乃至図3に示すように、旅客は座席10の座部11に座って、その脚を脚のせ部12に載置する。次に脚のせ部12を前方へ延長することにより、旅客はその脚をゆつくりと延ばすことができる。この場合、各座席10の脚のせ部12は、前方に位置する座席10の袖装置10の下方に形成された空間18内に受入れられる。

【0017】 本実施の形態によれば、各座席10の脚のせ部12を、前方に位置する座席10の袖装置10の下方に形成された空間18内に受入れることができるので、座席10間において無駄なスペースを排除して全体の構造をコンパクトにすることができる。また、各座席10の袖装置13の後方部分に、他の座席10と区画する隔壁15を設けたので、この隔壁15によって座席10の旅客は個室にいるような感覚を得ることができる。

【0018】

【発明の効果】 以上のように本発明によれば、各座席の脚のせ部が前方の座席の袖装置下方へ延長可能となっているので、座席間において無駄なスペースを排除して、全体の構造をコンパクトにすることができる。また各座

席の袖装置の後方部分に、他の座席と区間するための隔壁を設けたので、この隔壁によって座席に座る旅客に個室に在るような感覚をもたせることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による座席組合体システムを示す全体平面図。

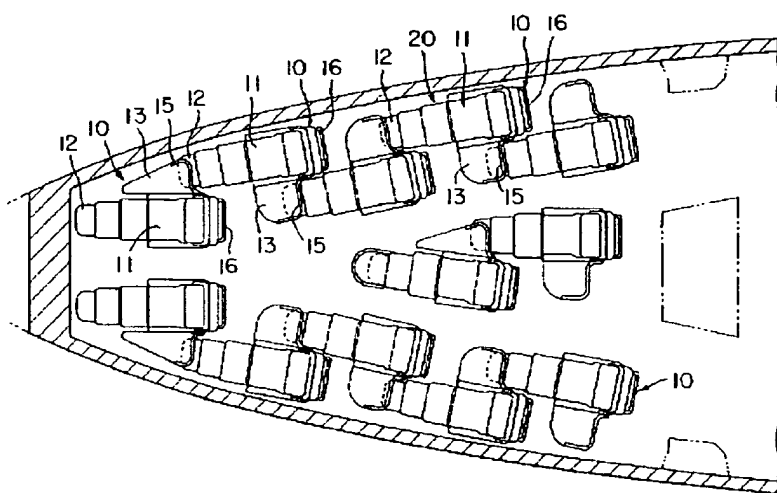
【図2】座席の前方斜視図。

【図3】座席の後方斜視図。

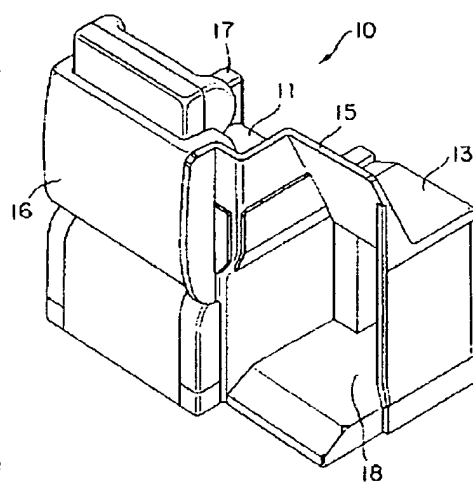
【符号の説明】

- 10 座席
- 11 座部
- 12 脚のせ部
- 13 袖装置
- 15 隔壁
- 16 背部
- 18 空間
- 20 客室

【図1】



【図3】



【図2】

